

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期の課題は、差し迫ったことから、家族との再意思確認、提携医との協力、本部の支援等を改め確認し、万全を期すように努力を期待します。	入居者様全員が本人の希望する終末期を迎えられること。	家族の意思確認を行い、24H体制の提携医が提供できる医療、ホームで提供できる介護を明確にし、安らか終末期を送られるように支援していく体制を作る。提携医ではない主治医についても、ホームでの情報を提供し、何らかの病気が見つかったときにはそのつど、話し合いを持ち今後の方針を決めていく。同時に訪問看護との提携についても、条件・金額等について本部との協力で進めていく。	6ヶ月
2	35	訓練は避難訓練を中心に、2階からの脱出、逆に津波を想定して1階から2階に集結するを実施しました。2階からの脱出には時間がかかり課題となりました。	入居者様全員が安全に避難することができる。また1階のデイサービス利用者様が2階に避難してきたとき混乱することなく受け入れることができる。	階段をスムーズに降りられるように普段からの訓練が必要。普段でも階段を上り下りする生活を取り入れる。デイサービス利用者様との交流を密にする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。